

令和6年第27回定例公安委員会会議録

開催日時 令和6年9月26日(木) 午前11時12分～午後2時0分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後1時56分

2 出席者

公安委員会 勝部委員長 久本委員 笠田委員

警察本部 森本警務部長 宮田首席監察官 細田生活安全部長
前田刑事部長 山本交通部長 樋口警備部長
濱本警察学校長 坂口情報通信部長

(事務局等～岩城公安委員会補佐室長、総務課員)

3 議題事項

警察職員等の援助要求(警備部)

警察本部

佐賀県公安委員会から、天皇皇后両陛下の「第78回国民スポーツ大会」御臨場及び地方事情御視察に伴う警衛、また、岐阜県公安委員会から、天皇皇后両陛下の「第39回国民文化祭及び第24回全国障害者芸術・文化祭」御臨場及び地方事情御視察に伴う警衛に万全を期すため、特別派遣の援助要求があった。

委員

2件続けての警衛となり、大変だと思うが、しっかりと任務を果たしていただきたい。

委員

佐賀県と岐阜県の両案件とも、天皇皇后両陛下の御臨場ということであり、

万全の体制での警衛をお願いします。

委員

移動に際しては、交通事故防止でお願いしたい。

4 報告事項

- プロムナード・コンサートの開催結果（警務部）
- 各種大会報告（警務部）
- 第32回暴力追放鳥取県民大会の開催（刑事部）
- 10月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

(1) プロムナード・コンサートの開催結果（警務部）

警察本部

鳥取県警察音楽隊が担う警察広報活動の一つであるプロムナード・コンサートは、鳥取県庁講堂において、平成7年4月から毎月1回の実施を目標に開催していたが、コロナ禍の影響により、令和2年2月を最後に開催を見送っていた。県民からの要望を受け、諸般の調整が整ったことから、今般再開したものである。

コンサートでは、鳥取県民歌「わきあがる力」を皮切りに、「踊る大捜査線ハイライト」、第1回プロムナード・コンサートで演奏されたカーペンターズの曲などを演奏した。会場では、楽器の展示を行ったほか、曲間には警察音楽隊の歩みについて紹介するなどして、広報した。来場者からは、「再開するのを楽しみにしていた。」「青春時代の曲があり、感動した。」「また来たいと思った。」などと反響があった。

プロムナード・コンサートの再開にあたっては、海外におけるマスタークラスの講師を務め、自身がクラリネット奏者で指揮者でもある部外講師を招へいして特別訓練を実施し、技能向上に必要な指導・助言を受けたうえで臨んだ。プロムナード・コンサートは今後も定期的で開催していく予定である。

委員

警察音楽隊のコンサートは、すばらしい広報活動となる。県民にとっては、警察の方が音楽活動を行っておられることで、身近に感じることができ、とても心強く思う。今後も定期的で開催していただきたい。

委員

県民の安全安心を守る警察職員がコンサートを開催されることに、とても意義

があると思う。普段の業務と並行しながら、二足のわらじで音楽隊活動をされていることと思うが、それに甘んじることなく、プロの講師から特別な指導を受け、レベルアップしようとする姿勢がすばらしいと感じた。引き続き活動を続けていただきたい。

委員

県民の期待を受けて再開されたということであり、大変よいことだと思う。今後も継続して活動ができるよう、よろしく願います。

(2) 各種大会報告（警務部）

警察本部

各種大会報告について、まず大会結果についてであるが、令和6年度全国警察柔道・剣道選手権大会と令和6年度中国四国管区内警察逮捕術大会が開催された。上位の結果とはならなかったが、逮捕術大会においては惜敗するなど、手応えのある結果であった。

次に、大会予定についてであるが、SAGA2024国民スポーツ大会、2024年度全日本スポーツ射撃競技選手権大会、令和6年度中国四国管区内警察拳銃射撃競技大会、令和6年度鳥取県警察柔道・剣道大会、令和6年度全国警察柔道大会・剣道大会が開催予定である。大会に向け、今後も選手の技能向上に努めていく。

委員

中国四国管区内警察逮捕術大会では、惜敗だったとのことであり、是非次の大会で頑張っていたきたい。次々と大会が控えているが、鳥取県警察の名を馳せることができるよう、切磋琢磨して頑張っていたきたい。

委員

大会で上位に行くと士気が上がると思う。指導や練習の仕方を工夫しながら、是非頑張っていたきたい。大会が目白押しとなっているとのことであり、それぞれの競技での健闘を祈っている。

委員

肝心なことは、一つずつ向上していくことだと思う。それぞれの大会で自分の力を出し切れるように頑張っていたきたい。

(3) 第32回暴力追放鳥取県民大会の開催（刑事部）

警察本部

暴力追放鳥取県民大会は、暴力団のない安全で住みよい鳥取県の実現のため、県民一人一人による暴力団排除意識の高揚を図ることを目的として、平成4年から開催しており、本年は、10月28日、米子市文化ホールで開催する予定である。

大会は3部に分かれており、第1部では、暴力追放功労団体及び個人に対する表彰並びに主催者等挨拶、第2部では、福岡県警察本部長として五代目工藤會壊滅作戦を指揮し、最高幹部を逮捕するなど、壊滅的な打撃を与え、現在は弁護士として活躍されている樋口真人氏の記念講演、第3部では、警察音楽隊によるコンサートを予定している。多くの方に参加いただき、県民の暴力団排除意識の高揚を図りたい。

委員

県民の暴力団排除意識を高めることは、大変重要なことである。将来的には、暴力追放鳥取県民大会を開催する必要がなくなる社会になることを願っている。県民の意識を高めることに尽力いただきたい。

委員

福岡県警察では、工藤會のトップを逮捕され、組織が弱体化したと報道されていた。当県は米子市に山口組の幹部が存在していることから、県民に暴力団排除に関する取組を周知していただきたい。

委員

暴力団排除は優先すべき警察業務の一つであり、県民一人一人が関心を持つ必要があると思う。

(4) 10月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

警察本部

10月中の入校関係については、採用時教養が初任科1課程である。専科は、鑑識専科等、3課程が入校予定であり、任用科は、警部補任用科と巡査部長任用科が入校予定である。

10月中の行事・訓練関係等は、鳥取県警察柔道・剣道大会への出場、初任科第100期制服実務研修を予定している。

9月中の行事・訓練関係等は、航空隊見学、公安委員長による訓育、部外講師による障がい者講習及び薬物乱用防止講習等を実施した。9月30日には、初任科第99期が卒業する。

委員

初任科生には、立派な警察官を目指して訓練を継続していただきたい。引き続き行事・訓練等をよろしく願います。

委員

制服実務研修を実施されるとのことであり、指導を行う先輩警察官は、初任科生に対して範を示していただきたい。障がい者講習を実施されており、鳥取県はあいサポート運動を行っている県であることから、障がいのある県民の方に対し、しっかりとした対応ができるようにしていただきたい。

委員

初任科生には緊張感を持っていただきながらも、前向きな気持ちで研修等に臨んでいただきたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取4件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

3 事前説明

4 報告事項

- ・ 車両の使用制限にかかる聴聞の実施
- ・ 交通規制標識柱の倒壊に伴う一般車両の損壊について

5 決裁

- ・ 鳥取県特例施設占有者の指定等に関する規則の一部改正
- ・ 公安委員会宛て苦情の受理について

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。